また、沖縄の青い海では、海水浴をしたりバナナボートに乗ったりしました。初めはすごくこわかったけど、乗っているうちに慣れて、もっとスピードをだしてほしいと思いました。でもすごく楽しかったです。それにエメラルドビーチでは、「おいこみ漁」をしました。色々な種類の魚がいたのでびっくりしました。

美ら海水族館では、大きな水そうの中を泳いでいるジンベエザメを見ました。ぼくはその大きさにおどろきました。色とりどりの魚も見ました。北海道では見ることのできない魚ばかりで楽しかったです。その後、イルカショーを見ました。これも北海道のイルカショーとは、少し違っていて楽しかったです。

△追込漁（サレービチ漁）体験

ホームステイも思い出に残りました。ぼくは、保科君と一緒に上本部小学校のせな君の家に泊りました。せな君の家ではバーベキューをしたりしました。それに砂浜でスイカ割もしました。すごく楽しかったです。これからもせな君と仲よくして、また沖縄に行ってみたいです。

ぼくは、今回の沖縄の旅が少し不安でした。でも、みんなと過ごしているうちにその不安な気持ちもなくなりました。沖縄で体験したことや経験したことを大切に、これからも元気に生活していきたいです。そして、また沖縄に来て、もっともっと沖縄について勉強したいです。

最後に、ぼくたちを本部町につれていってくれたやくばのみなさんありがとうございます。そして、ずいこうしゃのみなさん一週かんぼくたちのせわをしてくれてありがとうございました。みんなのおかげでぶじに帰ってくることができました。

「沖縄でのたくさんの思い出」
落合小学校　小出　捺貴

私が沖縄に行って楽しかったことと、学んだことはたくさんあります。

一つ目は、パイン園とハブショー見学です。まずハブショー見学を見ていきました。ハブショーのとちゅうで、ハブを首にまくというのがあって、私はハブを首の上にのせました。とてもきもちわるかったです。ハブショーがおわって、女の人がパイン畑に案内をしてくれました。そこでは、パインの育てかたなどを教えてくれました。売店にもどってパインを食べました。とておいしかったです。

二つ目は、美ら海水族館です。バスからおりて、美ら海水族館の中に入りました。中に入って、水族館の人から色々注意点のお話しをききました。そのあと見たことのない魚など見ました。その中でも私が一番ビックリしたのは、水そうとジンベエザメです。水そうは思ったよりすごく大きくて、ビックリしました。ジンベエザメも思ったより大きくてビックリしました。沖縄でしか見られない魚などジンベエザメが見れてよかったです。

三つ目は、海で泳いだことです。私は海で泳いだことがなくて、「冷たいかなあ?」と思っていたのですが、入ってみると思ったより冷たくなかったです。もぐって見るとたくさんの魚が泳いでいました。とてもきれいな海でした。

△美ら海水族館

四つ目は、ホームステイです。私は、知念はるかちゃんの家族の方がたが迎えに来てくれて、車に乗りました。車に乗ってからすぐに、ホテルみたいなところで夜ご飯をそこで食べました。食べていたら、急に雨がふってきて、はるかちゃんのお父さんが「つゆだよ」と教えてくれました。食べている時ははるかちゃんのお母さんが「はるかがしゃみせんならってるから八時三十分に行くよ」と教えてくれて、私は、しゃみせんと聞いて、楽しみにしていました。

8時30分になって「いくよ」といわれて行きました。行くと5人ぐらいの人が来ていました。そのあと色々な音のだしかたを教えてもらいました。しゃみせんをひくことがないので、いい思い出になりました。そのあと、はるかちゃんの友達のみなみちゃんの家で花火をしたり、かき氷やスイカを食べさせてくれました。はるかちゃんの家に帰ってお風呂に入って寝ました。沖縄では、ゆぶねがないことを知ってビックリしました。

おわかれの時少しさみしかったけど、色々教えてもらって、いい思い出ができました。

最後のひめゆりの塔では、戦争の時に使われた物や暮らしがわかりました。戦争の大変さがわかりました。

この4泊5日の長いような短いような沖縄旅行でたくさんの体験をさせてもらいました。楽しい思い出もたくさんできました。またいつか沖縄に行きたいです。

「ぼくの行ってきた沖縄」
金山小学校　斉藤　利玖

ぼくが沖縄に行って一番楽しかったのは、ホームステイです。ホームステイ先ではバーベキューや花火などをしました。そのあとは大浴場に行ってきました。そしてぼくは11時ぐらいに寝ました。ここで不安に思ったのは、寝ぼうをしないかが心配でした。でもぼくが最初におきましたが、またその後二度寝をしてしまいました。朝には沖縄そばを食べたりして楽しかったです。

△本部町各小学校6年生との交流

楽しかったことのほかにも勉強になったこともありました。戦争の時にどんなことがあったなどがわかりました。ぼくはやっぱり楽しむだけではダメだと思いました。

いんしょうにのこったことは、道のえきでアメリカ軍の基地を見たことです。道のえきでの方はせまくて日本の人の住んでいる家が小さかったです。一方、アメリカ軍基地の方はとても広かったです。高さ5メートルぐらいの防音のためのカベがありましたが、まったく効果がないと思いました。

次にひめゆり平和祈念資料館です。証言を読んでいんしょうにのこっているのは、「フミさんの顔がなくなった。」という話です。友達のフミさんの頭がばくだんでいっしゅんでなくなってしまった話です。ぼくはこの話をよんでざんこくで悲しい事実だと思いました。

ぼくは沖縄のことを学習して、戦争はないほうがいいと思います。なぜなら、ぼくは戦争に行きたくないし、多くの命がなくなるからです。一番大切なのは命だと思います。

ほかに楽しかったのは、南富良野町にはない海を体験したことです。海の水はとてもしょっぱかったです。沖縄の海にはサンゴがいて、それをふむといたかったです。

海では、今回漁業体験をしてハリセンボンがいたりナマコもいたりしました。海での体験は楽しかったです。

もう一つの思い出にのこっているのは、美ら海水族館でした。水族館では、ふつうでは見られないような魚がいました。ジンベエザメや熱帯魚などがいました。特にジンベエザメのいた水そうはとても大きかったです。小樽の水族館とくらべると、小樽の水族館も大きいけど美ら海水族館の方が大きかったです。

今回ぼくが沖縄にいって一番勉強になったのは、戦争のことです。やっぱりぼくは戦争をしない方がいいと思います。

今回南富良野町の役場の方、本部町のホームステイの家族、本部の教育委員会や先生方におせわになりました。ありがとうございました。

「ホームステイの思い出」
下金山小学校　永井　美沙

私が沖縄に行って一番楽しかったことは、ホームステイをしたことである。

沖縄に行って、その日を合わせ三日もたった。いよいよ楽しみなホームステイが始まった。車に乗って、「いずみ」という町について、ようやくホームステイをする人の家へついた。そこは、うなぎ屋さんで、私はもしかしてタご飯でたべれるかもと、とてもわくわくしていた。それでタご飯を食べる前に、野乃花さんの弟に出会った。元気な男の子だった。

△歓迎会でホストファミリーとの交流

タご飯を食べる時、思ったとおりだった。うなぎのしょうゆ焼きみたいなものがあった。一口食べると、ふわふわとした食感で味も少し甘かったので、とてもおいしかった。

タご飯を食べた後は、野乃花さんとテレビを見たり、一緒に絵を書きながら遊んだりした。そして8時ぐらいになると花火をやった。でも、ろうそくがなかったし、続けてやらないと火が消えてしまうから、花火はあっというまに終わってしまった。それでも、たくさんの量の花火ができたし、野乃花さんと家族の話ができて、とても楽しかった。

花火が終わったら、ある約束をした。それは、大人になったら、旅行に行ける分のお金をどちらかがいっぱい集めて、先にたまった人がその家へ行くということである。

いよいよお別れの時がやって来た。車に乗りながら私はこう考えた。この約束、ぜっ対に忘れないでぜっ対にやろうと。お金のため方はまだ決まっていないけど。

私は、今回ホームステイで野乃花さんと一緒に遊べたことと、そのお母さんや弟と話ができたことがとてもうれしかった。短い時間でしたが、ホームステイをしてたくさんの思い出が残った。

△本部町の小学6年生と交流を深めました